

DRUG

INFORMATION



2016 No. 29

平成28年6月21日発行

献血ポリグロビン N5%静注 5g/100mL の仮採用について

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

献血ポリグロビン N5%静注 5g/100mL の仮採用について



免疫グロブリン製剤である「**献血ベニロンーI 静注用 2500mg**」を製造している化血研が 4 月の熊本震災の影響により工場での生産が停止しており、今後医療機関への供給ができなくなる可能性があります。

当院では「**献血ベニロンーI**」以外にグロブリン製剤を 2 剤採用しており、この 2 剤を含めた免疫グロブリン製剤 4 剤の効能・効果は以下の通りです。

各種ヒト免疫グロブリン製剤の効能・効果一覧

	低・無ガンマ血症	重症感染症	減少性血小板	川崎病	多発性筋炎	皮膚筋炎	慢性炎症性脱髄性神経炎	全身型重症筋無力症	筋無力症	急性中耳炎、他	天疱瘡	水疱性類天疱瘡	SJS・TEN	ギラン・バレー症候群	チャールグ・スト	ラウス症候群他
献血ベニロンーI	○	○	○	○										○	○	
献血グロベニンーI	○	○	○	○			○				○	○	○	※	※	
献血ヴェノグロブリン IH	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			※	※	
献血ポリグロビン N(非採用)	○	○	○	○										※	※	

※：献血ベニロンーI の供給不足に伴い、厚生労働省保険局より保険審査への配慮が一時的に認められている適応（DI ニュース 2015 No. 26 参照）

各グロブリン製剤ごとに効能・効果が異なっており、神経内科疾患等是一部の薬剤に限定されています。今後、「**献血ベニロンーI**」の供給の滞りに伴い、他の免疫グロブリン製剤が品薄になることが予測されます。神経内疾患等の特定の製品のみに適応が限定されているグロブリン製剤を必要となる患者へ供給できるようにするため、化血研製剤の供給が再開されるまでの間に限り、「**献血ポリグロビン N5%静注 5g/100mL**」を一時的に仮採用致します。重症感染症等で使用される場合は本剤の使用を御検討願います。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。
(文責：名和)